

様式 9-3

29.4.01

内部監査報告書

確認	確認	受付	被監査部課			内部監査チーム		
								
作成日	平成29年7月27日			被監査課	美術博物館			
監査日時	平成29年7月26日 15時00分～16時45分			被監査者	飯島 剛			
内部監査員氏名	櫻井 毅 齋藤 浩			相互内部監査員所属及び氏名	なし			
指摘区分	章番号	指摘の内容						
マニアル 7.1 賞賛事項		教育訓練では、職場内へ独自の資料を作成して職員への周知を図るとともに、研修後にアンケートを実施していること。特にアンケート内容では、「自己の取組宣言」をして、職員各自のアクションを明確にし、意識の醸成をしていること。						
マニアル 7.2 改善の機会	①是正処置を要する改善の機会（不適合） → 様式9-4「改善の機会対策報告書」作成 ②被監査課に対する改善の提案 → 様式9-4作成不要							
①是正処置を要する改善の機会（不適合） ・是正処置は監査日から2か月以内に完了		なし						
②被監査課に対する改善の提案		【改善提案に対する処理状況は、翌年度の内部監査で確認します。】 なし						
マニアル 7.3 気づき事項 (軽微な文書上の不備等)		【気づき事項に対する処理状況は、翌年度の内部監査で確認します。】 なし						
マニアル 7.4 システム提案 (事務局への提案 具体的な解決方法を含む。)		<被監査課との意見交換から> 今回の取組には、監査側・被監査側ともに戸惑いや混乱が見られるので、当該システムをマネジメントする事務局で取組を検証し、改善をしていただきたい。具体的な観点は以下の通り。 ・新規格で求められる取組の水準が高まったことから、相互監査では十分機能しない嫌いがあり、専門的な知識を持った事務局による監査・指導などやり方を見直すべき。 ・あわせてサイトを「課」単位から「施設」単位にするなど捉え方を改めるべきではないか。 ・具体的な取組の観点も的確に対応すべきエネルギー消費量の削減と法的要求事項に特化した取組とすべき。						
その他の特記事項		無し						
市民協働環境部長 処理欄	賞賛事項の水平展開	指示	確認					
	要 (否)	市民協働環境部長 	環境モデル都市推進課長 					

【注】 1 内部監査員は、監査実施後7日以内にチームリーダーに報告します。

2 この環境記録は、市民協働環境部長、事務局の確認後、各課で保管します。